

産業別四半期見通し調査結果

(2017年7-9月期見通し)

■ 県内産業天気図

◇ 2017年4-6月期の現況

- 全17業種中、「晴れ（好調）」が1業種、「薄日（順調）」が8業種、「曇り（普通）」が7業種、「小雨（低調）」が1業種となった。

◇ 2017年7-9月期の見通し

- 全17業種で、天気マークは変わらず、方向感では、「横ばい」が10業種と最も多く「やや上昇」が7業種となった。

天気図記号	2017年 1-3月期現況	2017年 4-6月期現況	2017年 7-9月期見通し
晴れ（好調）	0 業種	1 業種	1 業種
薄日（順調）	6 業種	8 業種	8 業種
曇り（普通）	10 業種	7 業種	7 業種
小雨（低調）	1 業種	1 業種	1 業種
雨（不調）	0 業種	0 業種	0 業種

■ 7-9月期見通しのポイント





































































- 製造業では、「晴れ（好調）」の半導体製造装置に加えて、「工作機械」「産業用機械」「電子部品・デバイス」などの機械工業では、半導体関連、自動車向けを中心に海外需要の増加が続くほか、国内でも安定した需要がみられ、「薄日（順調）」の見通しとなっている。
- 卸小売業では、「大型小売」で「小雨（低調）」が続く一方、「自動車販売」ではモデルチェンジに伴う新型車効果などもあり「薄日（順調）」が続く見通し。
- 「ホテル・旅館」では、山岳高原の観光地を中心に、信州DCによる宿泊利用や北アルプス国際芸術祭等の各地で開催されるイベントに伴う観光客の増加が期待されることから「曇り（普通）」ながら、「やや上昇」が見込まれる。

照 会 先
 一般財団法人 長野経済研究所
 調査部（担当：桑井、久保田）
 TEL：026-224-0501



<産業別天気図一覧(17業種)>

■調査内容：業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。


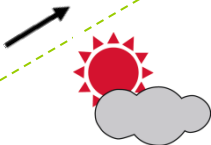
■調査期間：2017年6月中旬～17年7月中旬 ■調査回答企業：県内主要企業17業種の142社

業 種	前期 (2017年1-3月期)	今期 (4-6月期)	来期 (7-9月期)	
工 作 機 械				
半 導 体 製 造 装 置				
産 業 用 機 器				
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス				
自 動 車 部 品				
光 学 ・ 計 器				
プ ラ ス チ ッ ク 製 品				
飲 料 製 造				
食 料 品 製 造				
機 械 器 具 卸				
大 型 小 売				
自 動 車 販 売				
公 共 工 事				
民 間 工 事				
旅 客				
貨 物				
ホ テ ル ・ 旅 館				


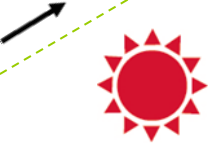
当研究所の注目業種

	7-9月期見通しの注目ポイント
<p>電子部品・ デバイス</p> 	<ul style="list-style-type: none">➤ 自動車向けは、安全運転支援などを中心に車載用電子部品で堅調な受注が続く見通し。➤ スマートフォン向けは、大手完成品メーカーにおける秋の新型モデル発売に向けて生産がピークを迎える。加えて、新興国を中心に人気のある中国系メーカーからも一定量の受注が継続するとみられており、順調な推移が見込まれる。➤ 全体の受注水準は上向く見通しであるが、部品の種類によっては、海外の新興メーカーなどの技術水準の向上によりコスト競争が激しさを増し、収益を圧迫する懸念がある。
<p>自動車販売</p> 	<ul style="list-style-type: none">➤ 新型車に対する底堅い需要が続くとみられ、販売は堅調に推移する見通し。➤ 消費者の燃費に対する意識が高まる中、低燃費車種が引き続き市場をけん引する。SUVも、引き続き好調な販売が続くとみられる。➤ 輸入車は、幅広い消費者層で需要が高まり、引き続き堅調に推移する見込み。➤ 高齢者の事故などが社会問題化する中で、軽自動車で、自動ブレーキなど安全装備の水準を高めて、比較的価格を抑えた車種が人気となっている。こうした低価格、低燃費で安全性の高い新型車を中心とした販売の持ち直しが注目される。


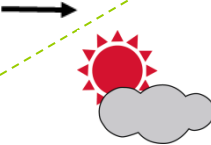
工作機械 : 設備投資の広がりで見込める機械需要は順調な推移が見込まれる

<p>現況</p>	<p>国内は、主力の自動車関連を中心に機械需要は堅調だった。政府の「ものづくり補助金」による需要の押し上げ効果も一部でみられた。海外は、米国向けが自動車関連を中心に安定した設備需要があり堅調に推移し、欧州向けも引き続き底堅かった。アジア向けは、最大の市場である中国が自動車、電気・精密機械関連を中心に上向き、特にスマートフォン関係の需要が順調であった。タイやインドネシアなどの東南アジア向けは設備投資が持ち直しており受注は底打ちした。</p>
	
<p>見通し</p>	<p>国内は、幅広い業種で設備投資が広がりを見せており、引き続き堅調な機械需要を見込む。海外は、米国向けは新車需要に伸び悩みがみられるが、総じては底堅く推移する見通し。欧州向けは安定した推移が見込まれる。アジア向けは中国のスマートフォン関連の機械需要は一服するとみられるが、半導体関連などでは機械の需要が高まっており、引き続き多くの業種で受注は高水準を維持する見込み。東南アジア向けは自動車関連を中心に徐々に上向いていく見通し。</p>
	


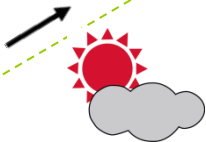
半導体製造装置 : 中国向けを中心に装置需要は高まる見通し

<p>現況</p>	<p>国内は、スマートフォンや車載用電子制御装置向けなどの半導体の生産ラインを中心に、製品の高精度化への対応から製造装置を増強・更新する動きがみられた。海外は、半導体を国策で増産する中国でスマートフォンの高機能化やデータセンター用のサーバー向けの需要増加から半導体製造が活発化し、装置受注も好調に推移した。また、半導体製品の微細化・高集積化にかかわる付加価値の高い製造装置などで競争力を高め、収益を確保する企業もみられた。</p>
	
<p>見通し</p>	<p>国内は、スマートフォンや車載用電子制御装置向けの半導体を製造する装置を中心に堅調な受注を見込む。海外は、中国で引き続き半導体製造が旺盛なことから、装置需要は高まる見通し。さらに、引き合いが増えるIoT関連製品のセンサーやメモリーに搭載される半導体の生産も増加が見込まれ、業況の押し上げ要因になるとみられる。また、海外メーカーとの競争が激化する中で、製品分野の絞り込みや高機能化などで性能を強化する企業も増えると思われる。</p>
	


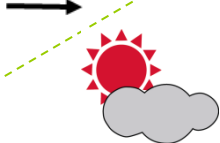
産業用機器 : FA機器は順調な需要を見込む

<p>現況</p>	<p>産業用ロボットなどのFA機器は、国内は設備投資の広がりにより半導体製造装置向けや工作機械向けなどが増加し需要をけん引した。海外は、中国などの新興国でスマートフォン関連の製造機器を中心に受注は順調だった。車載関連機器は、国内はハイブリッド車や電気自動車向けの受注が安定的に推移した。海外は、北米における完成車需要が底堅く受注は堅調だった。水冷装置や空調機器などは、省エネのための更新ニーズにより受注は安定した。給湯器やガスヒートポンプなどの住設機器は、リフォームや機器更新などの需要を確保した。</p>
	
<p>見通し</p>	<p>産業用ロボットなどのFA機器は、国内は半導体製造装置や工作機械向けなどを中心に、需要の増加を見込む。海外は、スマートフォン関連の製造機器が需要をけん引し、順調な動きが期待される。車載関連機器は、国内はハイブリッド車や電気自動車向けで安定推移が見込まれる。海外は、北米向けが需要の下支えとなるが、完成車販売の伸びに鈍化がみられるなど、受注が弱含む可能性がある。水冷装置や空調機器などは一定の更新ニーズが続く見通し。住設機器も設備のリフォームや機器更新により底堅い需要を確保するとみられる。</p>
	


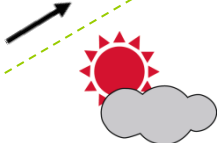
電子部品・デバイス : スマートフォン、自動車向けを中心に順調に推移する

<p>現 況</p>	<p>自動車向けは、安全運転支援システムなどを搭載する車種の広がりから、使用される車載用電子部品が順調に推移した。スマートフォン向けは、大手完成品メーカーの現行モデルと今年発売予定の新型モデルの生産が重なるなど受注は安定していた。また、中国系メーカーからの受注はやや減少したものの高い受注水準は維持され下支えとなった。その他のデバイスなどでは、一部にIoTに関連した製品等もみられたが市場を盛り上げるような勢いはなかった。全体として受注は順調に推移した。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>自動車向けは、安全運転支援などを中心に車載用電子部品で堅調な受注が続く見通し。スマートフォン向けは、大手完成品メーカーにおける秋の新型モデル発売に向けて、部品の生産がピークを迎える。加えて、新興国を中心に人気のある中国系メーカーからも一定量の受注が継続するとみられており、順調な推移が見込まれる。海外の新興メーカーなどの技術水準の向上により、一部ではコスト競争が激しさを増す懸念もあるが、全体の受注水準は上昇する見通し。</p>
	


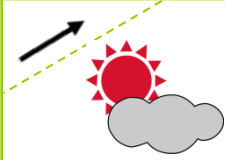
自動車部品 : 海外向けは堅調、国内向け需要は上向く

<p>現 況</p>	<p>国内は、新型車向けの安定した部品需要が受注を下支えした。また、モデルチェンジに伴い軽自動車向けで需要の増加がみられたことなどから、国内全体の受注は持ち直した。海外は、北米向けで、米国の完成車需要に一服感がみられたものの、部品受注は底堅く推移した。中国向けは、小型車の取得に対する減税策縮小の影響が一部でみられたものの、総じて安定した受注が続いた。東南アジア向けは、市場規模が大きいインドネシアの需要に持ち直しが見られ、受注を下支えした。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>国内は、引き続き新型車向けの安定した需要が下支えする見通し。また、軽自動車向けの受注も堅調に推移するとみられ、国内全体の需要は上向く見込み。海外は、米国における完成車需要の鈍化は見込まれるものの、北米向けは当面、安定した受注が続くとみられる。また、中国向けは、減税策縮小による先行きに対する不透明感は依然としてあるものの、底堅い受注は維持される見通し。東南アジア向けは、持ち直しが続くと思われる。</p>
	


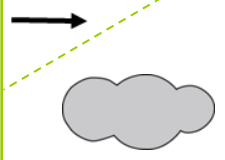
光学・計器 : 計器類は半導体製造装置向けや民生用メーターで増加の見込み

<p>現 況</p>	<p>光学機器関連のうち、事業者用プロジェクター向けのレンズユニットは海外を中心に順調だった。自動車向けは、新型車の部品需要が高まり受注が増加した。スマートフォン向けは、大手のほか中国系メーカーからも一定の受注があり安定的に推移した。デジタルカメラの交換用レンズは、一部で受注に下げ止まりの動きもみられた。計器関連は、半導体製造装置向けが中国などの需要の高まりから伸ばしたほか、建機向けも持ち直した。ガスメーターが交換サイクルにあたり堅調を維持したほか、水道用メーターも一定の受注を確保した。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>光学機器関連のうち、プロジェクターのレンズユニットは、海外を中心に短距離投影の機種向け等で受注が増加する見通し。自動車向けも、新型車の部品受注を中心に順調な推移が見込まれる。デジタルカメラの交換用レンズは新製品の投入などもあり一部に持ち直しが期待される。スマートフォン向けは、新機種の生産が本格化し増産となるほか、中国系メーカーから一定の受注確保が見込まれる。計器関連は、民生用でガスメーターは堅調を維持、水道用メーターは上向く見通し。半導体製造装置向けの受注は緩やかに増加するとみられる。</p>
	


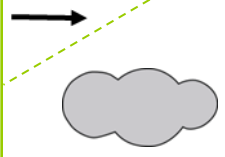
プラスチック製品 : スマートフォン向けの需要高まる

<p>現 況</p>	<p>自動車関連は、国内の乗用車販売が堅調に推移したことなどから、部品受注は底堅かった。スマートフォン関連は、人気機種向けのコネクタ生産が、現行モデルの生産に加え、新型モデルの受注により段階的に増加したほか、中国系メーカーからも一定の受注を確保し堅調に推移した。容器類は、インバウンドやEC取引（電子商取引）などで一定の需要がある化粧品向けが堅調だったほか、受注が減少していたボトルも持ち直しがみられた。また、OA・情報関連では、複写機向けなどで新規の受注も一部にみられた。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>自動車関連は、堅調な国内の乗用車販売に支えられ、部品需要は引き続き順調に推移する見込み。スマートフォン関連は、人気機種の新製品の発売に向けて、部品の受注水準が高まり、生産もピークを迎える見通し。加えて、中国系メーカーからの受注も一定量継続するとみられ、全体で増加する見込み。容器類は、芳香剤などの受注水準がやや低下するものとみられるが、インバウンドやEC取引は拡大傾向にあり、化粧品向けは引き続き堅調に推移するとみられる。OA・情報関連では、複写機向けなどで一定の受注が続く見通し。</p>
	


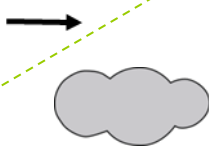
飲料製造 : 需要は堅調に推移するも収益環境は厳しい

<p>現 況</p>	<p>清涼飲料水は、ミネラルウォーターや茶系飲料を中心に需要期に向けて増産が進み、総じて前年並の生産量となった。果汁・野菜飲料のうち、トマトジュースはテレビ番組で病気予防効果が紹介された影響が続き、需要が増加した。清酒は、生産量の多くを占める普通酒の需要が減少する中、純米酒などの特定名称酒や季節限定の生酒・冷酒などで売り上げを確保した。ワインは、国産原料を用いた日本ワインの評価の高まりから堅調だった。飲料業界全体では、原材料や包装資材等の調達コストが高値圏で推移し収益を圧迫した。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>清涼飲料水は夏場の需要期を迎えて生産量が増える見込み。また、消費者の健康志向を反映したトマトジュースや特定保健用食品などの飲料製品も、引き続き需要が上向くとみられる。清酒は、特定名称酒や季節限定酒などが底堅い見通し。また、酒造メーカーによっては夏バテ予防で注目される甘酒の売り上げ増加が期待される。ワインは総じて安定した需要が見込まれ、人気銘柄では品薄状態になるとみられる。飲料業界全体では、各種コストの高値推移に対し価格転嫁の動きは一部の新品などに限られ、厳しい収益環境が続く見通し。</p>
	


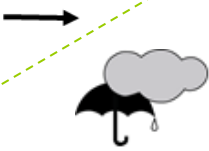
食料品製造 : 健康や簡便性を訴求した商品を軸に販売は堅調

<p>現 況</p>	<p>味噌は、即席などの商品の販売が堅調だったが原料米の仕入価格が高止まり収益を圧迫した。製粉は、前年と同水準の販売量を確保したことに加え、そば粉の原料である玄そばの価格が安定して推移したことなどから収益環境に改善がみられた。加工肉は、無添加などの食に対する安全性を訴求した商品の販売が増加した。大豆関連商品、コンビニ向け惣菜は、健康志向が高まる中、減塩をはじめとした健康を考慮した商品の売り上げが堅調に推移した。乾燥食品は、シリアル向けドライフルーツなどで安定した販売量を確保した。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>味噌は、即席といった簡便性を訴求した商品などの販売は堅調に推移するとみられるが、原料米価格の高止まりが続く見込み。製粉は、原材料価格が引き続き安定的に推移することなどから、収益環境の改善傾向が続く見通し。加工肉、大豆関連商品は、安全や健康に対する需要の高まりから、関連商品の売り上げは底堅さが続くと思われる。コンビニ向け惣菜は、行楽シーズンの観光需要から販売量の増加が期待される。乾燥食品は、シリアル向けを中心に引き続き安定した販売量を確保する見通し。</p>
	


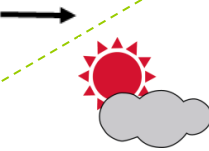
機械器具卸 : 機械設備の需要は底堅く推移

<p>現 況</p>	<p>「ものづくり補助金」の効果に加え、人手不足に対応するための自動化を進める動きもあり機械設備の需要は底堅く推移した。また、工具類をはじめ消耗品の受注は、自動車関連メーカーを中心に安定していた。電設資材は、公共施設や製造業の拠点整備など大型案件もあり売り上げを下支えした。しかし、大型案件の中には採算面の厳しいものも多く、収益は伸び悩んだ。太陽光発電設備は大型案件が少なく低調であった。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>自動車関連メーカーを中心に、機械設備の需要は引き続き底堅く推移する見込み。しかし、販売価格に対する値下げ圧力が強いほか、仕入価格や運賃コストなどの上昇もあり、収益の下押し要因となる懸念もある。工具などの消耗品は、自動車関連メーカーなどの生産増加に伴い需要は上向き見通し。電設資材は製造業の拠点整備などの設備投資が引き続き予定されており取扱量は横ばいで推移する見込み。太陽光発電設備は大型案件が期待できず収益面では厳しい状況が続く見通し。</p>
	


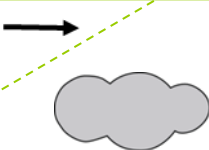
大型小売 : 夏物商品に期待するも、競争激化が懸念される

<p>現 況</p>	<p>百貨店は、物産展などの食料品催事が順調だったことから、食料品は総じて堅調だった。衣料品は、一部で好調な商品がみられたものの、気温の変動が大きく天候不順だった影響もあり、衣料品全体では苦戦が続いた。スーパーは、生鮮食品が堅調に推移したほか、総菜や飲料なども売り上げが増加した。ただし、消費者の買い物に対する慎重な姿勢などから、客単価は前年割れがみられ、競合店間の価格競争も加わって、収益面は厳しいものとなった。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>百貨店は、食料品催事による売り上げが堅調な見通しのほか、中元ギフトの出足が順調なこともあり、食料品は前年並みの売り上げが見込まれる。一方、衣料品は夏のセールによる売り上げ増加が期待されるものの、猛暑による客足への影響が懸念されるなど、苦戦が予想される。スーパーは、生鮮食品や季節商品などは堅調な推移が見込まれるが、消費者の価格に対する意識は強く、節約志向による影響は今後も続くと思われる。また、大型店の新規出店などにより競争は一段と激化することが予想され、収益環境は厳しさが増す見通し。</p>
	


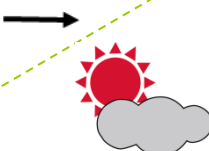
自動車販売 : 新型車需要は底堅く、販売は堅調に推移

<p>現 況</p>	<p>モデルチェンジに伴う新型車効果により、新車販売台数は前年を上回るなど堅調だった。車種別では、低燃費車種やSUVなどの販売が好調に推移した。また、これまで燃費データ不正問題などの影響で販売が低迷していた軽自動車も、安全性や機能性といった消費者の需要を捉えた車種を中心に、前年を上回る販売台数を確保した。中古車は、新車販売の増加に伴い、下取り車を確保できたことで車両不足がやや改善され、売り上げは持ち直した。輸入車は、車種拡大などの効果もあり新型車の販売が幅広い消費者層で堅調に推移した。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>新型車に対する底堅い需要が続くとみられ、販売は堅調に推移する見通し。消費者の燃費に対する意識が高まる中、低燃費車種が引き続き市場をけん引する。SUVも、引き続き好調な販売が続くとみられる。また、軽自動車は、安全性や機能性を重視する車種を中心に、販売の持ち直しが続く見込み。中古車は、堅調な新車販売に合わせて車両不足の改善も続くと思われる。輸入車は、幅広い消費者層で需要が高まり、引き続き堅調に推移するとみられる。</p>
	


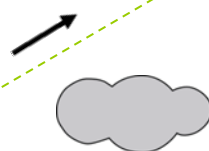
公共工事 : 国を中心に大型工事が見込まれるが、全体としては弱含む

<p>現 況</p> 	<p>大型工事が多数発注され、工事量は前期を上回った。発注者別にみると、国は三遠南信自動車道などのインフラ整備、県は新県立大学関係、市町村では新庁舎の建設など、それぞれで大型工事があった。また、老朽化などへの対応から、複数のごみ焼却施設工事が発注され、工事量を押し上げた。しかし、全体的に工事件数は少ないうえに、これら大型工事の多くは県外事業者が中心に受注したことから、恩恵を受けた県内事業者は一部にとどまった。</p>
<p>見 通 し</p> 	<p>国は、インフラ整備の大型工事が引き続き見込まれるほか、県は、飯山で発生した土砂崩れ対応による砂防ダム建設工事が予定されている。しかし、県内の公共工事の多くを占める市町村発注の工事は、予算縮小に伴い減少が見込まれることから、全体的に新規受注は弱含む見通し。今後も、ごみ焼却施設の建設が予定されているが、発注は翌期以降になるとみられる。なお、首都圏で建設工事が活発化していることで、県内の人手不足感はますます強まり、人材定着を目的とした労務費の上昇が、収益を圧迫させる懸念がある。</p>


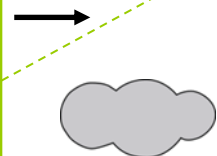
民間工事 : 建設投資は製造業を中心に引き続き堅調

<p>現 況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、北信地方を中心に製造業で工場の新築工事がみられた。非製造業でも、福祉施設の大型工事があるなど前期に続き堅調であった。新設住宅は、低価格商品を中心に堅調に推移した。貸家は、相続税対策としての建設需要が底堅かった。業界の構造的な問題とされる人手不足は深刻で、新規受注の見送りをした事業者もあった。また、資材や二次製品などの価格は依然として高値圏にあり、収益を圧迫した。</p>
<p>見 通 し</p> 	<p>民間企業の建設投資は、製造業の大型案件工事のほかに、非製造業でも福祉施設や小売店舗の建設需要が見込まれる。新設住宅については、良好な金利環境を背景とする建設需要に衣服感がみられるものの、低価格商品を中心に底堅く推移する見通し。貸家は、引き続き相続税対策としての需要は見込まれるものの、供給過剰を懸念する声も聞かれ、慎重化する可能性もある。改善される見込みのない人手不足を背景として、労務費は上昇傾向にあり、コストを販売価格に転嫁することが課題となる。</p>


旅客 : 信州DCによる利用増加に期待

<p>現 況</p> 	<p>大型連休が日並びと天候に恵まれたこともあり、高速バスは、観光利用を中心に堅調に推移した。路線バスや鉄道は、山岳観光などを目的とした外国人観光客が平日利用を下支えするなど、概ね例年水準を維持した。しかし、貸切バスは、ドライバー不足により供給量を増やすことが出来ず、収益機会を逸する企業のみられたほか、タクシーは、歓迎会や花見シーズンにおいても利用増加はみられなかった。また、軽油やLPガスなどの燃料価格の上昇が各社の収益を圧迫した。</p>
<p>見 通 し</p> 	<p>信州DCによる観光利用の増加が予想される。特に、鉄道は、JR各社の路線に加え、各地方の私鉄においても利用者の増加が見込まれる。また、電車による来訪者の二次交通手段として、路線バスやタクシーの利用促進に向けた取り組みが期待される。高速バスは、夏季行楽シーズンを迎えることで底堅い動きとなる見通し。しかし、貸切バスは、ドライバー不足の影響などから収益が伸び悩む懸念がある。</p>

貨物 : 輸送能力の制約から貨物量は横ばいで推移

<p>現 況</p>	<p>貨物量は底堅く推移した。荷種別では、自動車部品はモデルチェンジなどを背景に堅調に推移し、大型機械は、設備投資の広がりからやや上向いた。また、建機は海外向けが底堅かった。さらに、夏季に向け飲料品の輸送量が増加したほか、日用品や生鮮食品は例年並みの荷動きとなった。貨物量は堅調な一方、人手不足やトラック不足により輸送能力は増やせず、受注量は伸び悩んだ。庸車代や人件費の増加、タイヤやトラック車体の価格上昇により収益は圧迫された。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>自動車部品などで堅調な推移が見込まれるが、輸送能力の制約から貨物量は横ばいで推移する見通し。飲料は夏季の需要期を迎えることから増加する見通し。宅配便業者の料金値上げや時間指定サービスの見直しが報道され、物流業界に対する関心が高まっているが、深刻なドライバー不足への対応から待遇改善などによる人材定着のためのコストが増加しているほか、庸車代や燃料価格の上昇もあり、運賃値上げが課題となる。適正運賃の確保に向け、荷主との価格交渉の進展による収益の改善が望まれる。</p>
	

ホテル・旅館 : 夏季行楽シーズンに加え、信州DCによる利用増加を期待

<p>現 況</p>	<p>ビジネス客による宿泊利用は、都市部のホテルを中心に堅調に推移した。観光客による利用は、「真田丸」効果の剥落により対前年で減少した地域もあったが、全体としては、日並びが良く天候に恵まれた大型連休を中心に個人客・団体客ともに底堅く推移した。ブライダル部門は6月の需要の高まる時期を迎え、件数・規模ともにほぼ例年並みを確保した。外国人観光客は、花見や山岳観光等を目的として、アジア諸国を中心に堅調に推移した。</p>
	
<p>見 通 し</p>	<p>夏季行楽シーズンを迎え、観光客による宿泊利用は都市部のホテル、観光地の旅館ともに堅調に推移する見通し。猛暑が予想される中、避暑地として県内各地への観光需要が増加するほか、山岳高原の観光地を中心に、信州DCによる個人客・団体客の宿泊利用の伸びが期待される。このほか、北アルプス国際芸術祭等の各地で開催されるイベントに伴い、観光客の増加が見込まれる地域もある。ビジネス客は、都市部のホテルを中心に引き続き堅調な推移を見込む。</p>
